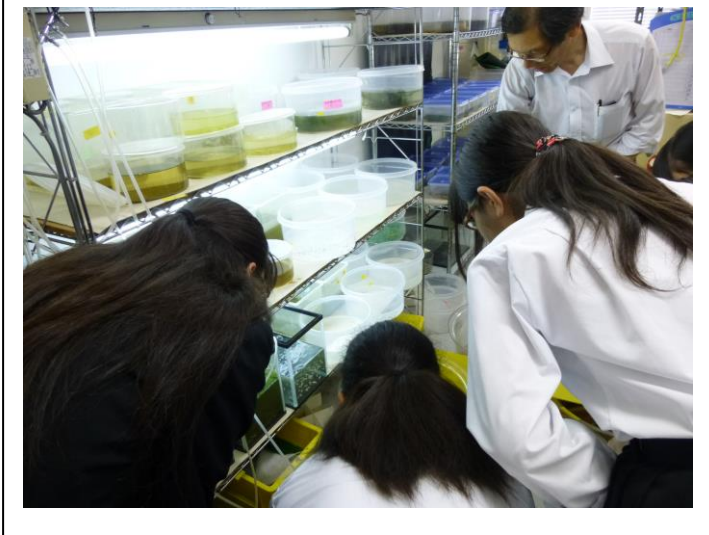
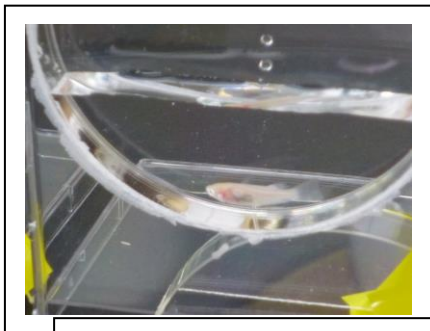


研究室訪問(三重大学教育学部)

6月5日(日)三重大学の教育学部 理科教育 生物学 後藤 太一郎 先生の研究室へ訪問させていただきました。1年生6名の生徒が参加し、講義と実習を行いました。

生物学 後藤研究室では、無脊椎動物と脊椎動物の循環系について学び、アメリカザリガニとオオミジンコの飼育法と心拍数測定、メダカやドジョウの飼育法と心臓や血流の観察を行いました。



生徒の感想(一部)

- ・アルビノ個体を使うことで、生きている状態でその生き物について学ぶことができるということに興味をひかれました。体が透けていたので内臓がとても見やすかったです。
- ・アルビノ個体が弱い理由が光と関係しているのが面白いと思った。ドジョウが腸で呼吸することを初めて知りました。
- ・中学校の時は脊椎動物と無脊椎動物の違いが骨格だと習ったが、内臓の位置が違うのもそうだと知り面白いと思った。
- ・無脊椎動物は心臓が背面にあり開放血管、脊椎動物は心臓が腹面にあり閉鎖血管といった循環器官から構造の違いがあることを学んだ。
- ・アメリカザリガニに注射をして体の色が蛍光色に変化したのは驚いた。そんなことを初めて見て驚いた。実際に見ることは写真で見ることよりも重要なことが得られるし、何より興味が得られるし価値があると思えました。